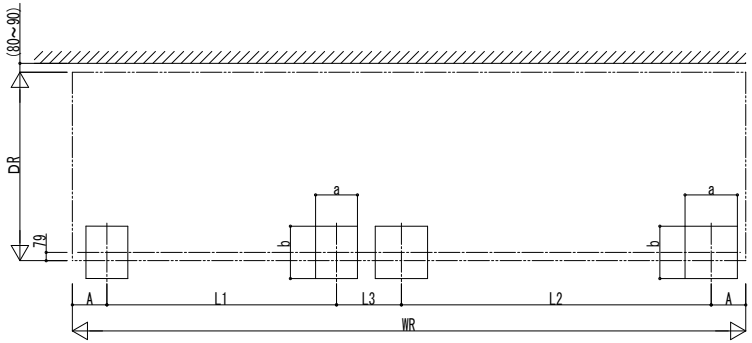
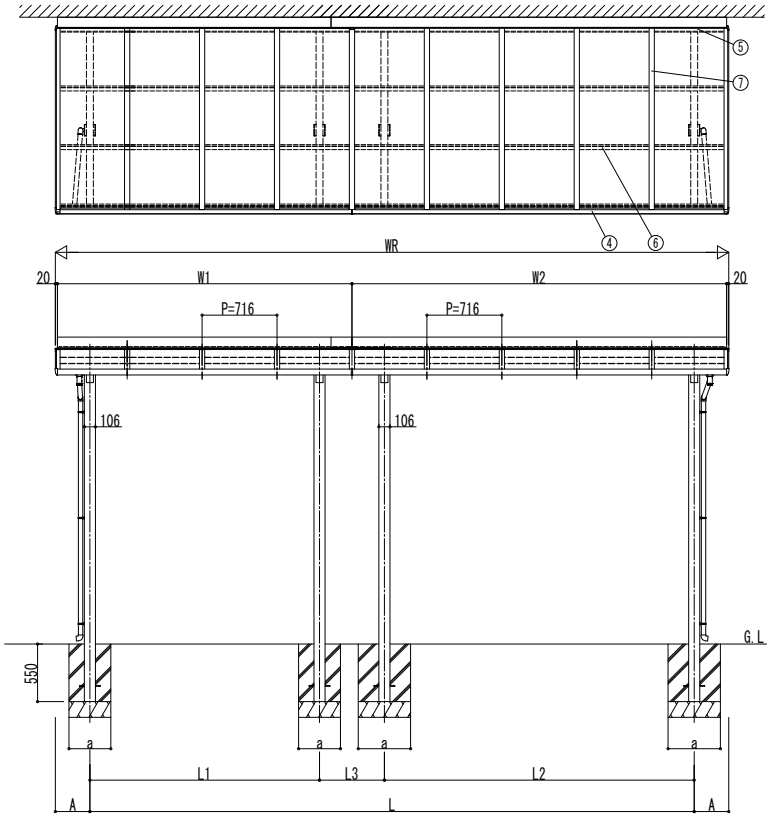
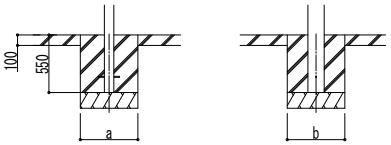
■基礎配置図



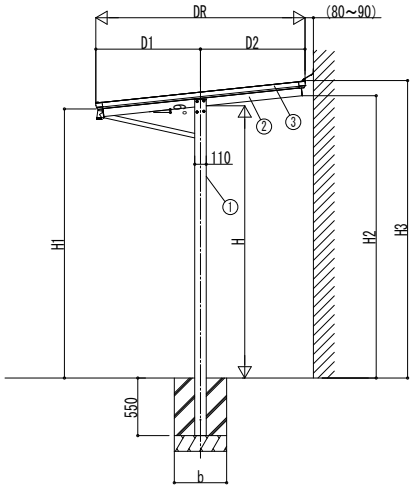
■姿図



独立基礎の場合



土間コンクリート考慮基礎の場合



■基礎寸法表　※単体サイズ(W1,W2)に準ずる

テラス屋根サイズ	独立基礎		土間コンクリート考慮基礎	
	1.5間	2 間	1.5間	2 間
4 尺	350	450	350	
5 尺	400	450		
6 尺	450	500		
6.6尺	500	550		
7 尺	500	550		

・地耐力50[kN/㎡]のときの基礎寸法を示します。

■奥行-高さ寸法表

奥行呼称	DR	D1 (水下側)	D2 (水上側)	H	H1	H2	H3
4 尺	1199	399	800	2600	2633	2675	2820
5 尺	1499	499	1000		2622	2696	2841
6 尺	1799	799	1000		2591	2696	2841
6.6尺	1999	999	1000		2570	2696	2841
7 尺	2118.5	999	1119.5		2570	2709	2854

・H=3100の場合、H,H1,H2,H3に500足した寸法にしてください

■間口寸法表

地域間	呼称幅	WR	W1	W2	L	L1	L2	L3	A
関東間	3 間	5768	2864	2864	5108	2244	2244	620	330
	3.5間	6484	2864	3580	5824	2244	2960	620	330
	4 間	7200	3580	3580	6540	2960	2960	620	330

■母屋本数一覧表

母屋本数	3 間	3.5間	4 間
4 尺	1		
5 尺	2		
6 尺			
6.6尺	3		
7 尺			

■主要部材材質一覧

主要部材	材質	表面処理
①柱	アルミニウム合金 押出形材	陽極酸化塗装複合被膜
②梁	アルミニウム合金 押出形材	陽極酸化塗装複合被膜
③側枠	アルミニウム合金 押出形材	陽極酸化塗装複合被膜
④前枠	アルミニウム合金 押出形材	陽極酸化塗装複合被膜
⑤後枠	アルミニウム合金 押出形材	陽極酸化塗装複合被膜
⑥母屋	アルミニウム合金 押出形材	陽極酸化塗装複合被膜
⑦垂木	アルミニウム合金 押出形材	陽極酸化塗装複合被膜

H：高さ（G.L～梁下端）
WR：奥行（単体＋連結部）
W1：奥行（単体）
W2：奥行(連結部)
DR：間口
D1、2：柱芯～屋根端部
H1：G.L～屋根下端
H2：G.L～梁下
H3：G.L～屋根上端
A：柱芯～屋根端部
L：L1,L2,L3の合計値
L1～3：柱芯々
P：垂木ピッチ
a：基礎（間口方向）
b：基礎（奥行方向）

・本図はレセパ Tタイプ 関東間3.5間6尺すき間ふさぎ材(オプション)付きを表す

変更記事	設計監理 殿	工事名 工事	照査	担当	作図	尺度	御承認印	図番
	施工 殿	図面内容 レセパ Tタイプ 2連結(呼称幅3～4間) 納まり図					年 月 日	通し図番

YKK ap ® 施工-A1